

島根県委託事業

第1部 講演

地方・中小企業に残る コミュニケーション文化 の課題と解決の糸口

企業の大小に関係なく、業務を円滑に進めるためには社内のコミュニケーションはかせません。しかしコミュニケーションが本当にしっかりと取れている企業は実は少ないのです。ビジネスチャットの活用は、中小企業の課題解決につながります。

ワークスマイルジャパン
株式会社(LINE WORKS)

代表取締役社長 **福山 耕介氏**



[profile] 2017年にワークスマイルジャパン株式会社に参画し、執行役員 本部長としてパートナーセールスおよびプリセールスの責任者としてLINE WORKSのエンタープライズビジネスの全般を掌握。さらに新型コロナウイルスの感染拡大によって働き方が激しく変化する中、LINE WORKSの新たな市場の開発や、地域における営業スキームの開拓など、中小企業におけるICT活用における営業スキームの開拓など、中小企業におけるICT活用の促進を進めてきた。2021年4月に代表取締役社長に就任。より役立つビジネスチャットサービスの提供など、業界全体の発展に取り組んでいる。

2021 10.14 [木]

[受付時間] 13:00 - 13:30 [開始時間] 13:30 - 16:30

[会場] 1. オンライン会場 → ZOOMにて配信させていただきます。

※お申込みいただいたメールアドレスにURLをお送りいたします。

2. オフライン会場 → サンラポーむらくも ※第12期人財塾受講生のみとなります。

[定員] オンライン参加で200名まで [料金] 無料 [申込] Googleフォームから →

[注意事項]

●第12期人財塾受講生のみリアル会場参加可能です。 ●風水害、蔓延防止措置、緊急事態宣言等発令された場合、中止になる場合があります。 ●アンケートなどをお願いする場合があります。

[お問合せ・連絡先]

■ 一般社団法人しまね人財研究会 代表理事 太田

TEL/090-7504-6259 MAIL/ollee@ms7.megaegg.ne.jp

■ 島根県商工労働部雇用政策課 多様な就業支援G 深尾

TEL/0852-22-5305

新型コロナウイルス感染症拡大によりデジタル社会は、私たちが望む望まないでなく急速に身近なものになりました。2021年9月1日にはデジタル庁も発足。「すべての行政手続きがスマホで60秒以内に行える」ことを目指すなど、変化対応力がない企業は生き残りが難しい時代に入っています。大企業以上に私たち地方の中小企業こそ、デジタルとの協働がかかせません。企業経営の中で経営理念などの変わらない部分(不易)とスピード感を持って取り組むことが重要なデジタルの導入(流行)とをバランスよく経営に取り入れるためのヒント満載。

第2部 講演

想いを カタチにする力

経済発展の一方で切り捨てられたモノや技術に、新しい価値を見だして現代に伝えています。それを『復古創新(ふっこそうしん)』と表現し、その想いをカタチにしています。

株式会社
石見銀山生活文化研究所

代表取締役 **松場 登美氏**



[profile] 1949年、三重県生まれ。81年に夫の実家がある島根県大田市大森町(石見銀山)に帰郷。88年、「BURAHOUSE」をスタート。98年、株式会社「石見銀山生活文化研究所」を設立し、アパレル事業とともに、古民家再生に取り組む。98年に築200年以上の武家屋敷を買い取り、改修に着手。企業理念は、「この地に関わる全ての人の幸せと誇りのために、私たちは復古創新というモノサシで美しい循環を継続していきます。」総務省「令和2年度ふるさとづくり大賞」最優秀賞(内閣総理大臣賞)受賞。

第3部 トーク セッション

古き良き 日本文化の発信と 最新のICT活用

どんなにいいものを作っても、どんな思いを共有したくても、「伝える」ことができねば意味がない。日本の各地で働く人々、お客様との「つながり」にデジタルはかせない。

ワークスマイルジャパン株式会社
代表取締役社長 **福山 耕介氏**



株式会社石見銀山生活観光研究所
代表取締役 **松場 忠氏**



[profile] 石見銀山生活観光研究所 代表取締役。靴職人としてシューズメーカーに勤務後、結婚を機に「群言堂」の飲食店事業を担当。2012年に石見銀山のある大森町に移住し、広報などを経て現職。「群言堂」のプロデュースにとどまらず、人口400人の大森町全体の観光業にも携わる。

